

# 吉野川市 議会だより



鴨島中央保育園でおいしいスイカがとれました。

## 目次

議長・副議長あいさつ	2	代表質問	7
議会構成	3	一般質問	10
議案の審議から	4	クイズ	15

# 改選後、初の定例会で正副議長 及び委員会構成決まる

## 議長あいさつ



議長 細井 英輔

市民の皆さまには、平素より市政並びに市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。  
今般の市議会議員一

般選挙後の6月議会定例会（初議会）におきまして、議員各位のご推挙により議長の重責を担わせていただくこととなり、その職務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、社会情勢が刻々と変化している中、本市におきましては、地方創生の実現をはじめ、定住・移住の促進や子育て支援、中心

市街地等の活性化の推進など取り組まなければならない課題は山積しております。

私たち市議会といたしましても、市民の皆さまが安心して過ごせるまちづくりのために議事機関として最大限の力が発揮できるよう20名の議員全員が尽力してまいり所存でありますので、今後とも吉野川市議会に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

## 副議長あいさつ



副議長 川村 辰夫

この度、改選後の6月議会定例会（初議会）におきまして、はからずも議員各位のご支持

を得まして副議長に就任いたしました。

もとより浅学非才の私にとりましては、身に余る光栄であり責任の重大性に鑑み、身が引き締まる思いがいたします。

さらに、防災対策、雇用の創出、若者の定住、教育、福祉等の充実・向上を図るため、議員と執行部の力を結集し全力で取り組む所存であります。

今後とも市民の皆さまのご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。副議長就任の挨拶といたします。

## 議会運営委員会

- 委員長 工藤 俊夫
- 副委員長 岸 田 秀樹
- 委員 岸 田 益雄
- 委員 河野 利英
- 委員 枝 澤 幹太
- 委員 増 富 義明
- 委員 相 原 一 永

## 議会広報特別委員会

- 委員長 栗原 五男
- 副委員長 岡 田 光男
- 委員 岸 田 益雄
- 委員 川 村 洋樹
- 委員 近 久 善博
- 委員 山 添 純二

## 常任委員会担当部局

- 総務部 防災局
- 総務部 環境局 会計課
- 監査委員事務局
- 選挙管理委員会
- 文教厚生常任委員会
- 健康福祉部
- 教育委員会
- 産業建設常任委員会
- 産業経済部
- 農業委員会
- 建設部 水道部

## 各党派別名簿

- 薫風会
  - 代表 岸 田 益雄
  - 副代表 枝 澤 幹太
- 志誠会
  - 代表 工藤 俊夫
  - 副代表 川 村 辰夫
- 公政・郷土・麻植会
  - 代表 藤原 一正
  - 副代表 岸 田 秀樹
- 由美会・清風会
  - 代表 原 田 由一
  - 副代表 福 岡 正
- 新進クラブ
  - 代表 増 富 義明
  - 副代表 田 村 修司
- 公明党
  - 相原 一 永
- 日本共産党
  - 岡 田 光 男
- 新しい風吉野川
  - 阿 佐 勝 彦
- 吉野川市民ファースト
  - 川 村 洋 樹



委員  
栞原 五男



委員  
細井 英輔



副委員長  
川村 洋樹



委員長  
枝澤 幹太



委員  
岸田 秀樹



委員  
田村 修司



委員  
福岡 正

総務  
常任委員会

7名

(議席番号順)



委員長  
工藤 俊夫



委員  
塩田 智子



副委員長  
相原 一永



委員長  
岸田 益雄



委員  
岡田 光男



委員  
阿佐 勝彦



委員  
藤原 一正

文教厚生  
常任委員会

7名

(議席番号順)



副委員長  
川村 辰夫



副委員長  
山添 純二



委員長  
増富 義明



委員  
原田 由一



委員  
近久 善博



委員  
河野 利英

産業建設  
常任委員会

6名

(議席番号順)

# 議案の審議から

6月議会では、条例案4件・予算案2件・その他2件が提案され、審議されました。

## 総務常任委員会

## 文教厚生常任委員会

▼専決処分の承認を求めることについて（吉野川市国民健康保険条例の一部を改正する条例）

▼専決処分の承認を求めることについて（吉野川市税条例の一部を改正する条例）

▼専決処分の承認を求めることについて（平成28年度吉野川市一般会計補正予算（第5号））

▼吉野川市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について

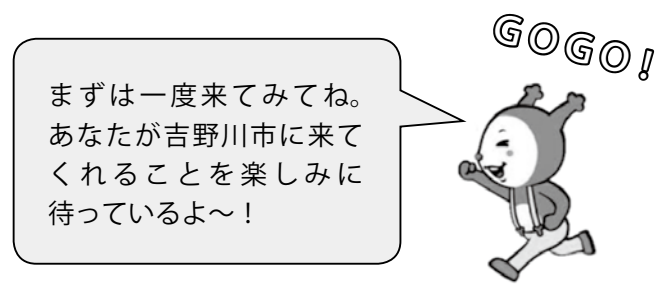
▼吉野川市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について

▼平成29年度吉野川市一般会計補正予算（第1号）について

**質問**  
平成28年度の繰越明許が、13億円前後もあつたのはなぜか。予算は単年度予算で、1年間で消化するのが原則ではないのか。

**企画財政課長**  
一般会計23件、合計13億2,000万円余りの繰り越しとなっている。

主な理由は、国の補正予算の関係で、12月や3月補正予算で計上したことや、事業発注にあつたの諸協議に不測の日数を要したためである。



▼専決処分の承認を求めることについて（平成28年度吉野川市一般会計補正予算（第5号））

▼平成29年度吉野川市一般会計補正予算（第1号）について

**質問**  
中央美化センター跡地運動場整備事業において、施設に行く途中には中学校や高等学校があり、交通量も多く頻繁に車が通行している。工事中または今後のイベント等開催時の交通対策は。

**教育次長**  
交通対策については、現在、検討できていないが、来年度の事業実

という要望があつたときの対応は。

**教育次長**  
学校が部活動等に使用する場合の使用方法や使用料等については、今後検討する。

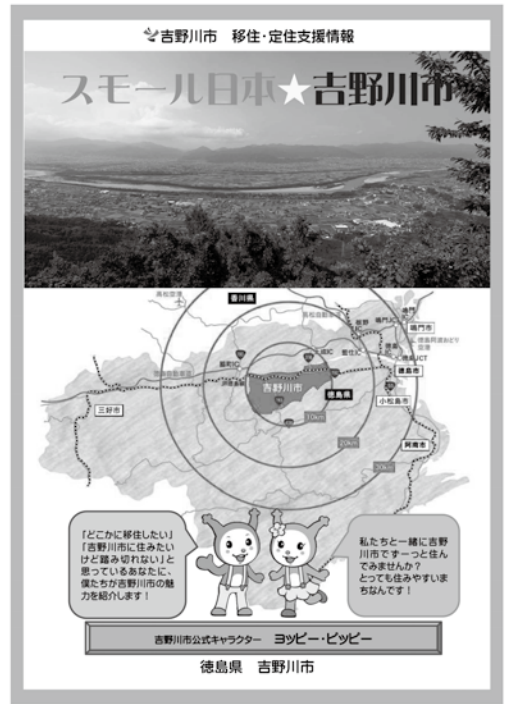
**質問**  
中央美化センター跡地運動場整備事業において、ナイター設備を設置する予定は。

**教育次長**  
ナイター設備の設置については、設置する方向で進めている。現在、詳細は検討しているが、高水準の運動競技に適用となるようなものではなく、地域での運動競技やレクリエーション活動、一

▼財産の取得について  
**質問**  
高越小学校の備品について、現在使用している備品の活用方法は。

**学校再編準備室長**  
8月の引越しの際に、川田中小学校からは備品を全て移転し、来年3月には、4校から使用できる備品を移転する計画としている。

また、移転後に高越小学校だけでは使用しきれない備品は、市内各小・中学校に案内をし、必要な備品の移転を行いたい。  
なお残った備品は、市役所内・関係機関で利用希望の照会を行い、その上でも残った備品については、総務



移住・定住支援情報リーフレット

## 産業建設常任委員会

### ▼平成29年度吉野川市 一般会計補正予算（第 1号）について

#### 質問

国の有利な補助金を利用して、美郷地区の問題解決や良さを生かした活動ができるようにするため、空き校舎を利用した計画を策定することのことが、この事業でどのような活用を想定しているのか。また、各種計画に対する財源の確保と意見集約の方法は。

#### 商工観光課長

利活用の想定については、これまでの経過や企業等の提案も踏まえ、アンケート調査やワークショップを通じて、再度、美郷地区の方から意見を聞き、地区のニーズを満たしながら地方創生に相応しい仕事や雇用を生み出す、美郷ならではの活用計画にしたいと考えている。

今回の計画策定では、総務省の過疎地域等自立活性化推進交付金

施までに検討したい。

#### 質問

県立川島中学校・高等学校のグラウンド使用において、狭いという状況を聞いたことがある。

学校から、中央美化センター跡地に整備する運動場を使用したい

般のトレーニングに適用となるナイター設備を想定している。

なお、近隣自治会を対象に事業説明会を行い、事業内容およびナイター設備設置の理解を得ていきたいと考えている。

部管財システム課で行っている「公有財産オークション」に出品可能なものは出品していきたいと考えている。

ただし、再編後の跡施設の利活用も考慮し、備品等の処分について考えていきたい。

500万円を活用するにあたり、予算全体の具体的な使途は。

#### 商工観光課長

アンケート調査の内容や回収方法、ワークショップの内容等について精査し、先進事例や学識経験者・専門家等の意見も聞きながら実施したいと考えている。

美郷地区の廃校施設の利活用については、教育委員会における川田・美郷地区学校再編準備委員会の地域部会で意見集約をしている

が、今回予算計上した計画策定の中に種野小学校は含まれるのか。また、国の補助金

は、美郷地区の休廃校舎を交流拠点として整備するための基本方針の策定を予定している。

今回の補正では、10割補助の非常に有利な国の支援を受け、さらに一歩踏み込んだ現実的な計画とするために必要な調査・分析、および今後の活動の要となる新たな地域運営組織の設立支援等に要する委託料140万円、アドバイザーとなる学識経験者や学習会等のワークショップ開催時の講師謝金70万円等を新たに計上している。

# ここが聞きたい

# 代表・一般質問

6月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

## 代表質問

### ①福岡 正

- 消費者行政について
- 教育行政について
- 英語教育の取り組みについて
- 災害廃棄物処理計画策定に向けた取り組みについて
- 最近の雇用状況について

### ②工藤 俊夫

- 部落差別解消推進法について
- 市の文化行政について
- 飯尾川の改修について

### ③岸田 益雄

- 育児用品の購入時期の拡大について
- 鴨島地区都市再生整備計画について
- ふるさと納税について
- 中山間地域交流拠点整備計画について

## 一般質問

### ④相原 一永

- 特定健康診査・特定保健指導について
- 高齢者インフルエンザ予防接種について
- 就学援助における学用品費の入学前支給を可能にするための対応について

### ⑤阿佐 勝彦

- 山瀬小学校体育館の改築について
- 子どもはぐくみ医療費助成制度について
- 手話通訳による聴覚障害者への取り組みについて
- ごみの不法投棄などに対する取り組みについて
- 山川町の山崎東地区の雨水排水対策について

### ⑥栗原 五男

- 麻植協同病院跡地利用について
- 高越小・こども園について
- 鴨島東部地区認定こども園について
- 移住・定住施策について
- 向麻山公園について
- 下水道事業について
- 中央美化センター跡地運動場整備事業について
- 小学校英語教育について

### ⑦田村 修司

- 県内・市内業者との契約について
- 私道の維持・管理について
- 市内にある公園の整備について
- 介護保険地域支援事業について

### ⑧枝澤 幹太

- 子育て支援について
- 教育格差是正について
- 小学校からの英語教育について
- 環境行政について
- 地元企業育成について

### ⑨岡田 光男

- 幼稚園における預かり保育について
- 子どもはぐくみ医療について
- 飯尾川流域の浸水被害の軽減対策について
- 子育て支援策について
- リユースの推進について
- 麻植協同病院跡地利用について

### ⑩山添 純二

- 公用車による交通事故防止対策の取り組みについて

### ⑪川村 洋樹

- 内水冠水対策について

# 代表質問



福岡 正  
(由美会・清風会)

## 災害廃棄物処理計画策定に向けた 取り組みは

(質問)

初動体制で混乱なく対応できるよう、  
幅広い対応策を講じる  
(答弁)

### ◎質問

本市において、南海トラフを震源とする大規模地震や台風等による風水害や土砂災害など大規模な災害の発生が懸念されている。震災の際には、同時に大量の災害廃棄物が発生し、その処理が遅れると早期の復旧・復興に影響がある。このことを背景に、今年度策定する「災害廃棄物処理計画」はどのような内容となるのか。

### ◎橋川環境局長

当計画は、国・県の上位計画に沿って策定し、本市の「地域防災計画」「一般廃棄物処理基本計画」の内容と整合し、より詳細に具体策を講じるものである。住民への健康面に配慮するとともに、衛生および環境等において安心して安全な対応を迅速に行うことを基本方針として策定する。

主な内容は、災害廃棄物の収集方法を確立

し、仮置き場の選定と運営方針について定め、廃棄物処理の実施体制等手順を策定する。

また、災害廃棄物は、災害要因によって性状が変わり、災害規模によっても廃棄物の量が変化するので、発災時の状況により処理対応が変わってくるが、発災後の初動体制で混乱なく対応できるよう、幅広い対応策を講じていく。

### ◎再問

仮置き場において、災害廃棄物に含まれる有毒物質等の対策と仮置き場の選定方法は。

### ◎橋川環境局長

仮置き場の土壌汚染防止策等、必要事項を計画に盛り込む。

仮置き場の選定については、公有地や未利用の民有地から法令・地形・周辺環境等を考慮しながら、関係機関と協議し決定したい。

## 【その他の質問】

### ◎質問

消費生活センター開設後の状況と今後の展開は。

### ◎総務部次長

本年度累計で16件の相談があり、昨年の同期累計が3件なので、大幅な増加となった。今後は、啓発事業を行い、消費者行政の進展を図る。

### ◎質問

学校再編の進捗状況は。

### ◎副教育長

高越小学校・こども園(仮称)は、本年8月の竣工に向けて工事を進めている。

鴨島東部地区の学校再編については、今後学校再編計画(素案)の丁寧な説明を行っていく。

### ◎質問

石田増男教育振興基

金を活用した小中連携英語教育研究会の取り組みは。

### ◎副教育長

多くの子ども達や教員が「生きた英語」に触れる機会や英語に慣れ親しむことができる環境を整える。

### ◎質問

本市の雇用状況と対策は。

### ◎産業経済部長

有効求人倍率は県内平均を下回っており、人材確保の効果的な取り組みが必要である。徳島労働局と連携し、若年者等の雇用促進を図る。



# 代表質問



工藤 俊夫  
(志誠会)

市の文化行政における  
文化財保護状況は

(質問)

文化財保護法等に基づき  
適宜実施している

(答弁)

## ◎質問

歴史や伝統のある四国遍路文化にも、さまざまな影響がおよぼされ、歩く遍路といった古い習慣だけにとらわれない新しい価値観が持ち込まれ、四国霊場の様相も変わりつつある。

藤井寺につながる市道は、大型車両の進入がスムーズに行えるように進捗が図られているが、測量未計画区間の早期実現のため、予算をつけ完成を望む。

①日本遺産に認定された藤井寺周辺の環境等の整備状況は。

また、遍路道を示す案内ステッカーの設置場所は。

次に、この四国の地に伝わる「へんろ文化」を、人々の多様な共存・共生社会への筋道を示す平和のシンボルとして、「世界遺産」に登録されるまで環境等を整備して、四国4県と本市を含めた関係82団体が共同で再登録申請をしながら、認定される

まで取り組むべきではないか。  
②世界遺産の登録に向けての本市の取り組みは。

③本市の文化財保護状況と文化財を紹介するための小冊子の発行時期は。

④市長の4選当選の今が、市史の編さん準備時期にきていると思うが、市の考えは。

## ◎阿部建設部長

①道路改良事業として、今後も大型バス等の安全な通行ができるように整備を進める。

## ◎松原教育次長

①「みち案内表示シート」を、推奨ルート内の市道5か所に設置している。

③文化財の保護は、文化財保護法および県や市の保護条例に基づき適宜実施している。

本市の文化財としては、国指定4件、国の登録有形文化財3件、県指定12件、市指定50

件となっている。  
平成28年12月に本市指定文化財の指定基準を策定し、指定状況の見直しを実施したため、市指定文化財は55件から50件となっている。  
文化財冊子は、本年度中に刊行を予定しており、文化財を観光資源として活用する際に、基礎的な資料となる情報が提供できるように作業を進めている。

## ◎川真田市長

②「四国遍路」の世界遺産登録の申請は、四国4県の関係団体が共通認識を持つことが重要であり、登録までには長い年月がかかると思うが、継続した取り組みを行っていく。  
④市史の編さんについては、市当局はもとより各分野の方々の協力がいる。  
市史編さんの時期、構成等を検討した上で、立ち上げ時期についても検討していきたい。



藤井寺



# 平成29年6月 議会定例会



岸 田 益 雄  
（薫風会）

都市再生整備計画の説明会開催  
 や住民の要望の聞き取りは  
（質問）

7月中旬頃から地元説明会など  
 を始める予定  
（答弁）

◎質問  
 鴨島地区の都市再生整備計画の麻植協同病院の解体工事が始まるうとしているが、地元説明会はいつ頃開催する予定なのか。  
 周辺道路は鴨島小学校や鴨島第一中学校の通学路となっているが交通安全への対策は。  
 また、アリーナや北館を利活用した複合施設の利用者、関係者からの要望などの聞き取り方法は。

○小澤建設部長  
 地元への説明会は、JA厚生連の行う解体工事発注により、解体工事の施工業者が決定後に開催を予定。7月中旬から下旬になる見込みで、解体工事作業工程の説明と都市再生整備計画の概要を併せて説明する。  
 周辺道路の安全対策は、通学時間帯は工事車両の通行制限をするなどJA厚生連や工事業者等と協議し具体的な安全対策を検討する。

アリーナ利用者や北館各フロア関係者および利用者の要望等は、基本設計がある程度まとまった段階で各分野別に説明を行い、要望や意見等を聞くとともに、その内容はできるだけ実施設計に反映し、よりよい施設建設に努めたい。

◎再問  
 周辺住民への説明会は、どの範囲の住民に行うのか。  
 また、アリーナや北館関係者への基本設計の説明会の対象範囲と開催時期、意見集約の方法は。

○小澤建設部長  
 地元説明会の範囲は、解体建物周辺、廃材搬出ルートで影響があると考えられる地域の自治会を想定。  
 基本設計の説明会は、各フロア関係者および利用者の各分野別に、7月下旬から8月上旬に開催予定。

○松原教育次長  
 体育関係者の意見集約は、本年4月から5月にかけて「利用者アンケート調査」を実施し、303名からの回答を現在集計している。  
 今後、基本設計がある程度できた段階で、体育協会加盟団体やスポーツ推進委員会、社会体育施設運営委員会や小・中・高の関係者で構成する「アリーナ検討部会」で説明し、意見集約をする。

◎副教育長  
 廃園・廃校となった施設については、市長部局や地域と連携を図り、廃校施設の利活用を検討する。

◎質問  
 育児用品の購入時期の拡大は。

○健康福祉部長  
 今年度から、母子健康手帳を受け取った日から購入した育児用品が助成の対象となる。

◎質問  
 ふるさと納税の新たな返礼品の取り組みは。



麻植協同病院跡地の計画案（H29.6現在）

○産業経済部長  
 今年度は「ブランド米」の栽培に取り組んでいる。  
 ◎質問  
 中山間地域交流拠点整備計画の今後の予定は。

○産業経済部長  
 美郷地区の多くの方の意見を聞き「地域運営組織」を設立する。

○副教育長  
 廃園・廃校となった施設については、市長部局や地域と連携を図り、廃校施設の利活用を検討する。

# 平成29年6月議会定例会

# 一般質問



相原 一永

特定健診の基本的な検査に  
心電図と眼底検査を追加しては  
(質問)

審査支払機関に検査項目の  
追加を申し入れる  
(答弁)

加する場合、県下の検査医療機関との契約を変更しなければならぬため、契約者の県内国保保険者および審査支払機関と協議を要すので、早急な対応はできないが、まずは審査支払機関に追加申し入れを行う。

## 【その他の質問】

◎質問  
平成28年度の特定健康診査の対象者数・受診者数・受診率は、また、特定保健指導を受けた人数とその率・受診率向上のための取り組みは。

○安達市民部長  
平成28年度特定健康診査の暫定値は、対象者数7,072人、受診者数2,681人・

◎再問  
厚生労働省の目標値は60%で暫定の数値ではあるが、37.9%はまだまだ努力が必要である。  
先進事例等を参考に創意工夫しながら、受

スターの掲示を行い、新規該当者には、通知や電話、訪問などによる受診勧奨を実施している。

◎質問  
市外で高齢者インフルエンザ予防接種を行った場合も助成できるように、県や市町村・県医師会に申し入れをしては。

◎健康福祉部次長  
インフルエンザ予防接種の広域化実現のため、県や県医師会等に対して要望を行う。



阿佐 勝彦

子どもはぐくみ医療費の  
完全無料化をしては  
(質問)

優先順位を付け、  
段階的に検討する  
(答弁)

助金は、1,200万円程度と想定している。  
子育て世帯の経済的負担の軽減の1つとして、医療費の自己負担無料化も重要な課題であり、現在の利用実態や受診状況を把握・分析し、子育て世帯の要望を取り入れながら実現に向けて努力したい。

◎質問  
子育ての最中の保護者みなさんの声は、異口同音に「子どもの医療費の完全無料化(600円負担を無くして欲しい)」となっている。

◎大塚健康福祉部次長  
現状「月600円のみ負担」となっているものの、病状いかなるものは治療する病院が違い、2つの病院に行けば1,200円自己負

◎質問  
くことは、予定外の出費となる。  
本市の医療費助成制度の現状と仮に自己負担無料化を行うとした場合の予算規模は。

◎大塚健康福祉部次長  
本市の「子どもはぐくみ医療費助成制度」は、通院の場合、3歳から中学3年生修了まで、入院の場合、6歳から中学3年生修了ま

◎再問  
本市において、まずは中学修了までの完全無料化はできないか。

◎大塚健康福祉部次長  
自己負担の無料化と高校生までの助成拡大は、子育て世帯の意見や要望を取り入れながら、優先順位をつけて段階的に検討したい。

## 【その他の質問】

受診率37.9%。

特定保健指導の対象者数は301人で、実施者数259人、実施率86%となっている。

受診率向上の取り組みは、医療機関・農協・各スーパードコンビニ等に協力いただき、市内99か所に受診勧奨ポ

診率が上がるよう努めてもらいたいとともに、従来の特定健康診

査の基本的な検査に心电图と眼底検査を追加してはどうか。

○安達市民部長

心电图と眼底検査を基本的な検査項目に追

◎質問

就学援助における「新入学児童生徒学用品費」を、平成30年度から入学前に支給できるようにしては。

○副教育長

他県の自治体の事例を調査研究し検討したい。

担が必要となり、多子家庭となると、さらに支出は厳しくなる。

3人以上の子どもをもつ夫婦は、「何とか隣の市のように無料でできないか」と、切々とした要望となっている。家計では、病院に行

◎質問

山瀬小学校体育館を改築しては。

○副教育長

市内14校の体育館は、昭和に建築されており、今後、改修・改築を含めた検討が必要と考えている。

元業者への対応は。

○健康福祉部長

建築工事の入札は、「地元活用審査型」の総合評価方式を採用する予定で、市外業者が受注しても積極的に市内業者を活用すると考えている。



黒原五男

高越小・こども園の県産材・市有材の使用率は

(質問)

県産材は全体の約35%、市有林材は棚等に使用する

(答弁)

◎質問  
県下の多くの自治体が、県産材使用条例のもと、小・中学校やこども園、集会所、ホール等を建築して補助金をもらっている。

本市も、以前より木材を多く使うことよって、子ども達の心身の成長に良いということ、市有材が多くあること、県産材を使うことで補助金がもらえること等

の理由から提案してきたが、高越小・こども園の建設において、

①県産材・市有材の使用率は。

②東北地方から木材が入っているが、当初の建設計画と違うのではないか。

③国等からの補助金はどれぐらいあるのか。

○藤野井副教育長

①県産材では主に土台、間柱、垂木に約102㎡使用しており、全体の約35%である。市有林材は、体育倉庫等の棚に使用する。

②高越小・こども園は木造建築であり、建

築基準法の構造計算により、通常の製材より強度の高い構造用集成材使用による工法が必要であり、耐震性を高めるため接合金物工法を採用した。

この工法による構造用集成材の加工を県産材の杉・檜で行う場合、強度的に現在使用している唐松より多くの原木が必要となりコストが高くなるため、集成材製作者から調達し、その本社・工場が山形県であるため、東北産の集成材を使用することとなった。

○大塚健康福祉部長

③国等からの補助金は、2億4,780万4,000円の補助を受ける予定である。

【その他の質問】

◎質問

麻植協同病院跡地近辺の私有地の動向は。

○建設部長

北館西側の私有地については、市が取得する方向で協議を進めている。

◎質問

鴨島東部地区認定こども園建設における地

◎質問

移住コンシェルジュの採用は。

○政策監

移住コーディネーターの候補者を8月中旬に募集し、地域の実情に精通した方を認定したいと考えている。

# 平成29年6月議会定例会

# 一般質問



田村修司

上桜公園の管理はどうなっているのか

(質問)

指定管理者制度の導入を視野に検討する

(答弁)

◎質問  
川島町の上桜公園には大正池の周りに遊歩道があり、市民の貴重な憩いの場として散歩コースにもなっていたが、いつの間にか草が生い茂り、遊具が腐って危険な状態である。この公園を市民の憩いの場としてよみがえらせるため、指定管理者制度を導入するべきと思うが。

◎三木産業経済部長  
安全性の向上・コスト削減・維持管理等に配慮し、利用条件や設置環境等、各公園の特性や利用状況、地域の要望等も総合的に勘案しながら、必要に応じて更新・整備する。

本市では、どのようなビジョンを持って公園整備・管理にあたっているのか、今後の公園づくりの方向性は。

## 【その他の質問】

◎質問  
大型施設の入札について、特A業者も参加できるように制度の見直しをしてはどうか。

◎建設部長  
建設工事審査委員会において制度について検討する。



枝澤幹太

大型事業の工事発注方法は

(質問)

価格と品質の両面から総合評価方式を導入

(答弁)

◎質問  
県西部の市では、市内業者の受注機会の確保・育成を図ることを目的に、市が発注する全ての建設工事で、市内業者の優先発注と市産品の活用を推進する「市内業者優先発注等に係る実施方針」が制定された。これは建設工事を発注する際、名簿登録業者から選定すること、

拠点施設建設工事」で、市内に事業所のある企業に80%以上を受注させるという条件付き一般競争入札を実施した例もある。本市での大型事業の工事発注方法および地元企業育成の施策は。

◎阿部建設部長  
建設工事審査委員会  
で決定した指名基準により指名競争入札での

法を導入している。また、地元企業育成の施策として、基本的には地元企業を選定しているが、工事の規模等により県外企業を選定されるケースもある。この場合、総合評価方式の評価項目に、地域貢献度として一次および二次下請けに市内企業が一定比率以上あれば配点が加算されるようにし、市内業者が優先されるようにしている。

大規模事業の下請けをすることで、地元企業の技術力向上も期待できるので、評価方法および配点等の見直しを行いながら、地元企業の育成に努めたい。

◎質問  
自治会未加入世帯の

## 【その他の質問】

○三木産業経済部長

上桜公園の木製遊具については、老朽化により使用禁止にしていたが、現在撤去中である。

また、公園周辺の遊歩道は、関係部局と連携して対応したい。

視野に検討したい。

○再問

全国的に「動く遊具」が公園からどんどん姿を消している。

例えば「回転塔」は10年余りの間に半減、「シーソー」は1割余りにも減少している。

○質問

「私」道でも必要に応じて、補修をすべきではないか。

○建設部長

緊急を要する場合は対応する。

発注を行っている。

スーパーゼネコンが受注しても一次下請業者を選定する場合は市内業者を優先すること、建設資材を調達する際は市内産資材を優先して使用すること等が規定されている。

近年では、「入札契約適正化法」や「公共工物品質確保法」の制定により、公正な競争の促進や価格と品質の両面からの競争への転換が図られるようになり、平成20年度から「総合評価方式」での発注方

ごみ集積所の現状とごみ収集の対策は。

○環境局長

自治会未加入世帯を対象とした個別の集積所は無く、各自治会の許可を得て集積所を利用することで理解をいただいている。



岡田光男

家庭用不用品の情報提供をし、再使用を促す事業は

(質問)

ごみ減量化に向けて有効な施策と考える

(答弁)

○質問

家庭用不用品の再利用の促進は、ごみの減量化や循環型社会の形成に大いに寄与する。本市として、不用品の情報提供などの事業

はできないか。

○橋川環境局長

国の「第4次環境基本計画」の中でも、地域における循環型社会の構築に向けて、特にリユ

ス(再使用)を推進していくことが望まれている。

このため、住民から不用品を引き取りリユース品として販売したり、広報誌や掲示板などを利用して、住民間の不用品の交換などを促す仕組みを設けている自治体もある。本市でも、ごみ減量化に向けて有効な施策と考えるので、前向きに検討したい。

【その他の質問】

○質問

春休みや冬休みなど長期休業中の幼稚園に

おける預かり保育はできないか。

○副教育長

幼稚園での預かり保育の長時間化・通年化に向けて、関係課と協議しながら検討したい。

○質問

18歳までの医療費の無料化はできないか。

○健康福祉部長

無料化への取り組みは、喫緊の課題と認識し、情報収集や現状の把握を行う。

○質問

飯尾川流域の浸水被

害の対策は。

○建設部長

河川改修が進むよう、県・市協調して事業の進捗に努めたい。

○質問

保育料の無料化や学校給食費の負担軽減はできないか。

○健康福祉部長

保育料の無料化は、子育て支援策の課題の一つとして、優先順位を付け検討したい。

○副教育長

給食費軽減について、今後、他市町村の

無償化等の実施状況について調査研究したいが、現状では困難であると考えている。

○質問

人口減少が進む中、建設予定のアリーナの規模は大きすぎないか。

○建設部次長

県内他市町の施設と比較した場合、総合体育館としては標準的な規模と考える。





山添純二

公用車による交通事故  
防止対策の取り組みは

(質問)

ドライブレコーダーの設置など、交通安全に対する意識の向上を図っている

(答弁)

◎質問

公務中の事故は、安全運転の模範を示すべき公務員にとって恥ずべきことであり、今は軽微な事故であっても積み重なれば重大事故につながるっていく恐れがある。事故をゼロにするため、安全対策をどのように強化するのか。

○吉永総務部長

が安全運転に対する意識を日々確認し、業務に取り組み、交通安全に対する意識の向上を図っている。

交通安全の研修を、毎年、全職員を対象に実施し、また本年4月には、市役所がスピードダウン運動推進事業所として委嘱を受け、公用車がペースメー



川村洋樹

内水冠水対策のインフラ整備を  
早期に実施しては

(質問)

早期に必要な整備ができるよう、有利な財源を活用し計画的に実施したい

(答弁)

◎質問

内水冠水対策について、山川地区の日の出宮島、西久保南地域では、雨水などの流末となる宇島川の改修がなかなか進まず、浸水被害の危険度の高い地域であり、浸水による孤立化なども住民の懸念するところである。

地域の農地も冠水被害により耕作が困難となり、一定の保水力を

○阿部建設部長

今後、この地域の雨水排水・生活排水整備に対して、どのような対策を講じていくのか。

山川町日の出地区を含めた南東部の地域では、雨水は側溝等を経由して最終的には河川に流入しているが、側溝等が設置されていない地区に降った雨水は、田畑での地下浸透しか

入する雨水を軽減するため、排水路整備を進めていくことを検討し、一刻も早い冠水被害の解消に努める。

学島川に接続が必要な排水路等は、早期に工事発注が行えるよう、今後も県と協議を重ね、事業実施に向けて取り組みたい。

また、中央から天神地域においては、地形的な関係で排水整備が進まず排水路計画は困難な状況ではあるが、浸水被害の発生場所に道路内で地下浸透させる方法が有効であると考えられるので、地質を把握するためボーリング調査を進めており、7月上旬に発注予定である。

◎再問

安全・安心して暮らすためのインフラ整備は、合併特例債を活用

## 本会議・委員会を傍聴しませんか

皆さんが選んだ議員の活動や、行政がどのようなことを行っているかを知っていただくために、議会の本会議などの傍聴をしませんか。どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。

TEL (0883) 22-2241



## 会議録をご覧ください

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますのでぜひ一度ご覧ください。



吉野川市議会会議録

検索

## クイズ

■「夏」を含む熟語です。  
読みを教えてください。

- ①夏橙 ②杪夏 ③銷夏 ④夏雲奇峰  
⑤夏仔 ⑥夏蔦 ⑦夏萩 ⑧夏虫疑氷



### （前回の解答）

- ①しょうぶ ②コスモス ③すみれ  
④たんぽぽ ⑤つくし ⑥バラ ⑦すもも ⑧すすぎ

【応募総数】  
92通

### チョットひと言

☆今年も92歳の母と山菜採りに行きました。来年も行けるといいなあ。  
☆脳トレに使わせてもらってます。  
☆高越山に登ることがあります。とても頂上は気持ちいいです。

（鴨島町 渡辺さま）  
（川島町 山神さま）  
（山川町 横田さま）

◎締切日 平成29年9月30日（消印有効）

◎送先 〒776-8611 吉野川市議会事務局

TEL(0883)22-2241

FAX(0883)22-2242

◎応募要項 はがき、またはFAXに答えと

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

して促進できないか。

### ○日下政策監

排水路等の市民生活に欠かせないインフラ整備は、できる限り早期に、有利な財源を活用し計画的に実施していく。

保てる農地の減少も懸念され、一日も早い改善が必要となっている。また、中央から天神地域においては、排水路整備が進んでいないため、少しの雨でも市道が冠水し、日常生活にかなりの支障が出ている。

なく、市道や田畑の冠水被害の解消が遅く、生活に支障をきたしている現状である。台風時期には、田での地下浸透は期待できず、道路への雨水流入が多くなっている。

今後の当地区の計画としては、下流域へ流

カー車となり、制限速度で安全運転に努め、主要幹線道路の実勢速度抑制にも取り組んでいる。

### ◎再問

民間では、運行前に車両の日常点検の結果および※アルコール

### ※アルコールチェッカーとは

呼気中のアルコール濃度や<sup>めいていど</sup>酩酊度などを数字で表示する機器です。特に飲酒運転には厳しい罰則が課せられ、アルコールチェッカーの使用も一部義務化されています。

募 集 要 項

# 表紙の写真募集



**テーマ** 吉野川市で撮影した  
季節の風景や祭り、行事など。

**規定** モノクロおよびカラープリント  
2L判～四切・W四切組  
写真も可(3点まで)  
住所・氏名・電話番号・題名を明記。

**締切** 平成29年9月30日(消印有効)  
発行は11月です。季節感のあるものをお願いします。

**その他** 作品の返却は行いません。採用された作品  
の使用およびトリミングなど加工につい  
ては、吉野川市議会広報特別委員会に帰属す  
ることをご了承ください。

**応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL(0883)22-2241  
FAX(0883)22-2242

## 市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言や  
アイデア、趣味や人生観  
など多岐に渡って文章  
を募集します。フアック  
スでも結構です。

… 規 定 …

●400字詰原稿用紙2枚以内  
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

●締め切り

平成29年9月30日(消印有効)

\*投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。  
校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

…あて先…

〒776-8611  
吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL(0883)22-2241  
FAX(0883)22-2242

### あとがき

5月の市議会議員選挙  
で選ばれた20名の議員に  
よる、初めての議会が開  
かれた。

我々、議員は行政と市  
民の架け橋である。

市民の皆さんの思いを  
伝え、もっともっと市が  
良くなり、市民の皆さん  
が住んで良かった、この  
地に生まれて良かったと  
思えるように頑張ってい  
かなければならない。

議会では、公約で話し  
たことを質問し、一歩ず  
つでも前に進んでいくよ  
うに頑張っている議員。  
選挙時に植えた稲と同じ  
ように「実るほど頭を垂  
れる稲穂かな」のことわ  
ざのように、謙虚に行動  
したいものである。

一般質問は、議員固有  
の権利であり最大の力だ  
ある。まちを良くするた  
め、どうすればこの市が  
もっと良くなるのかとい  
う問題意識を持ち続けたい  
ものである。

- 【編集委員】
- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 栗原五男 |
| 副委員長 | 岡田光男 |
| 委員   | 岸田益雄 |
|      | 川村洋樹 |
|      | 近久善博 |
|      | 山添純二 |



委員になり、議員の熱い  
思いの質問を市民の方  
に、文章でどう伝えるか  
が非常に大変である。議  
員の質問、行政側の答弁  
全てを載せることはでき  
ませんでした。が、本市で  
はケーブルテレビでも放  
映しており、議会の傍聴  
も自由であります。

市民の皆さんには、ぜ  
ひ新しい開かれた議会に  
注目していただきたいと  
思います。

栗原 五男